

令和2年度 決算報告

決算は、村がどのような事業を行い、どのようなお金が入ってきたかなどをとりまとめたものです。令和2年度の決算や財政指標から、本村の財政状況をお知らせします。

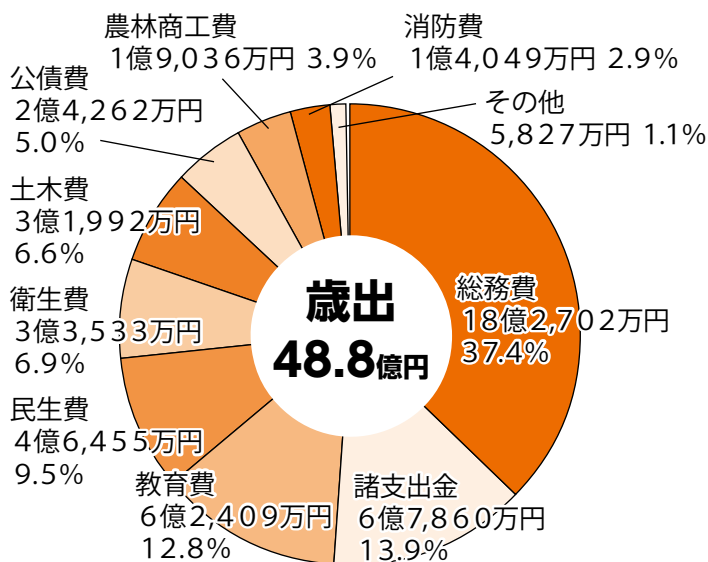
令和2年度一般会計決算は、歳入51億6,354万円、歳出48億8,126万円で、前年度と比べると歳入で12億2,324万円、歳出で13億1,354万円増加した決算となりました。

また、一般会計と7特別会計、水道事業会計並びに下水道事業会計の合計10会計を合算すると、歳入73億4,761万円、歳出72億2,693万円となり、新型コロナウイルス感染症対策関連事業費や新庁舎建設推進事業費などにより、前年度と比べると歳入で11億9,764万円、歳出で12億7,966万円の増加となりました。

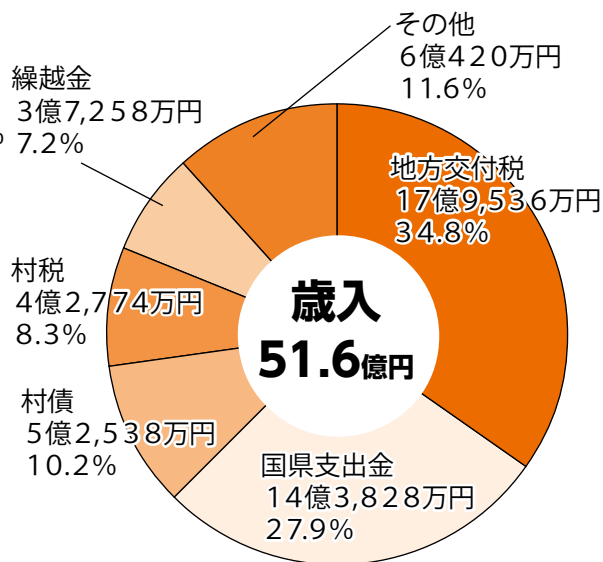
財政健全化法に基づく判断比率は、国の定める基準を下回り、財政状況は健全であるという結果ができました。今後も引き続き、健全な財政運営の取り組みをおこなっていきます。

一般会計決算内訳

歳出



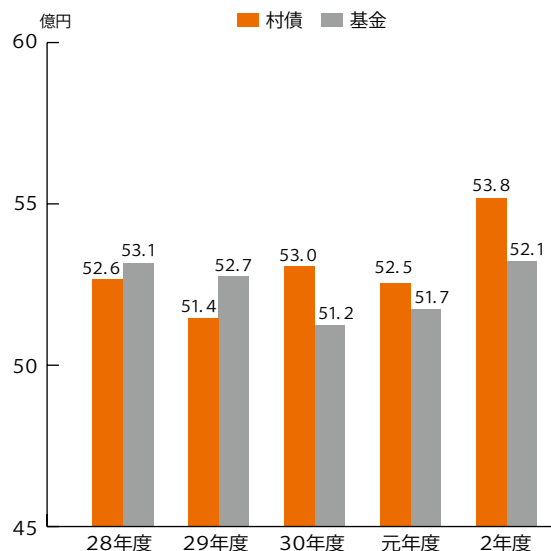
歳入



特別会計・事業会計決算額

会計名	歳入	歳出
整備基金	3,745万円	3,424万円
高松塚壁画館受託事業	844万円	844万円
国民健康保険 (事業勘定)	7億9,469万円	7億9,487万円
// (診療施設勘定)	1,450万円	1,450万円
後期高齢者医療	1億704万円	1億693万円
介護保険 (事業勘定)	6億3,078万円	6億2,727万円
// (サービス事業勘定)	384万円	384万円
飲料水供給施設事業	737万円	737万円
公有地等住宅開発事業	1,166万円	1,166万円
水道事業会計	2億1,743万円	3億751万円
下水道事業会計	3億5,087万円	4億2,906万円

村債 (借金) と基金 (貯金) の推移



令和2年度に実施した主な事業

特色ある歴史的環境で次代を担う子供が育つ村

◆生活環境及び産業基盤の整備

幼小中学校経営事業

4,423万円 明日香の特色ある教育として、幼小中一貫教育、英語学習、郷土学習の一層の充実を図った。
・いじめ、不登校、特別な支援を要する子供たちに適切な指導やアドバイスを行うための臨床心理士や特別支援員の配置、少人数学級編成による一人ひとりへのきめ細やかな指導を行い、学力の向上と自立した感性豊かな子供たちの育成を図った。

学校施設環境整備事業

9,952万円 小学校・中学校 G I G A スクール構想に伴う、学校 ICT 環境整備工事、タブレット型端末の購入、学校施設の長寿命化を図るため中学校消火ポンプ設備更新工事及び小学校の老朽改修工事（屋上防水工事）を行った。

万葉の地で元気にいきいきと暮らせる村

◆健康・福祉

地域包括ケア体制構築事業

5,722万円 コロナ禍の外出自粛によるフレイル対策として、あすか長生き体操やたちばな元気体操など身近な居場所やセンターで定期的実施。また見守り配食や民生児童委員の訪問活動などを通じて見守りや安否確認の活動を実施。
買い物支援体制について、庁内や社会福祉協議会と協議し公共交通機関を利用した実証実験を行い、担い手の確保や実施に向けての構築を図った。

古都にふさわしい安全・安心で生活しやすい村

◆安全・安心・生活環境・定住

防災対策事業

605万円 自然災害に備えて、備蓄品等の充実を図るとともに、土砂災害・河川氾濫の危険範囲や、避難場所、日頃からの備え等の情報を集約した防災リーフレットを作成。



地域防犯推進事業

218万円 地域の防犯力の向上を図るため、防犯カメラ及び防犯灯 LED 化に対する補助並びに防犯灯の修繕を実施。（防犯灯 LED 化補助 7 大字 3 6 基、防犯カメラ補助 3 大字、防犯灯修繕 3 基）【H30～】

クリーンセンター管理運営事業

6,388万円 飛鳥地方における広域行政の連携を図り、可燃ごみの焼却処理を橿原市に委託し、生活環境の保全と安定したごみ処理を実施。【R2～】

1億3,123万円 可燃ごみの焼却処理の広域化に伴い、資源ごみの再活用に特化した施設活用を図るため、焼却施設の解体工事を実施。

公共交通運行事業

3,785万円 交通弱者の外出支援を行うため、乗合交通等の導入や福祉運賃の設定、バス路線の維持を実施。【H15～】また、村民のニーズや新たな拠点に対応した公共交通を実現するための現況把握調査を実施。【R2～】
金かめ乗合交通の運行・コミュニティタクシー運行・福祉運賃委託（周遊バスにおける高齢者・障がい者の外出支援）
路線維持負担金（八木下市線、桜井飛鳥線）

道路整備事業

6,910万円 道路改良工事（村道地ノ窪線等）を継続して実施、R2年度で完了【H17～R2】舗装 A=1,520m²、防護柵 L=137m、防風壁 L=20.9m等 用地買収 A=260.54m²

下水道施設整備事業

1,259万円 生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、下水道施設の整備を実施。

水道老朽管等更新事業

2,379万円 安全・安心な水を安定して供給するため、老朽管の更新工事を実施。

3,069万円 安定した給水を行うため、老朽化した加圧ポンプを更新（上居）。

道路維持事業

2,498万円 安全で円滑な走行環境を確保するため、経年劣化した舗装や転落防護柵等の修繕を実施。舗装 A=2,223m²、防護柵 L=154m

橋梁長寿命化事業

1,365万円 橋梁の長寿命化を図るため定期点検並びに修繕が必要な橋梁について設計を実施。橋梁定期点検12橋 長寿命化修繕設計 2橋

新庁舎建設推進事業

3億6,843万円 実施設計と施工を行う事業者の選定・契約を行い、基本設計の見直し作業を実施。新庁舎を立地させるため地区計画を作成。建設地の用地を取得。デザインアンドビルド発注支援業務・実施設計の着手・建設用地の取得。

古代史の舞台で交流を促し元気のある村

◆農業・林業・商工・観光・雇用

有害獣対策事業

785万円 猟友会及び捕獲専門員と連携し、個体数の減少に取り組むとともに、狩猟免許の取得・更新助成を行い人材確保を図った。【H23～】捕獲数217頭（イノシシ114頭、シカ85頭、アライグマ18頭）
先端技術（ICT）を活用した有害獣の行動調査・生息調査を踏まえて、効率的な捕獲や集落の防御力を高めるための集落診断を実施し被害の軽減に努めた。

里山田園景観創出事業

1,050万円 荒廃した山林の林縁部において、広葉樹林化などの整備を実施し、良好な里山景観創出と獣害被害抑制を図った。棚田オーナー制度など各種オーナー制度の推進を実施。

観光振興事業

316万円 明日香村の歴史・文化・自然などの地域資源を広くPRするとともに、幅広い年齢層の観光来訪者の受入環境の充実化を実施。
飛鳥ハーフマラソンを契機とした新たな誘客促進に向けた閑散期キャンペーンを開催し、観光産業の活性化を図った。

飛鳥ハーフマラソン事業

2,600万円 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一年程度の延期となったが、代替イベントとしてオンラインマラソンの開催やゲストランナーによる特別講演会、子どもたちの走り方教室、マラソンコースの試走を行い飛鳥ハーフマラソンの魅力を広く発信しR3年度の大会開催へ向けた機運醸成と明日香村のPRを行った。

世界遺産登録による歴史的風土を守り生かし新たな文化をつくり出す村

◆保存活用・文化継承・景観・里山・情報発信

世界遺産登録推進事業

283万円 世界遺産登録推進協議会を中心として、専門家のアドバイスを受けながら推薦書素案を修正し、文化庁へ再提出。普及啓発事業として講演会を実施。【H18～】

村民協働事業

3,713万円 大字単位の景観、環境美化の維持・保全及び伝統行事の継承に対する支援を実施。【S55～】

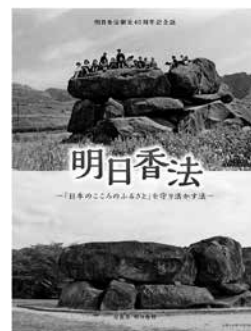
4,283万円 住宅等の新增改築に伴う屋根、外壁及び石積みに対する支援を実施。【S55～】

牽牛子塚古墳等整備事業

6,707万円 牽牛子塚古墳と越塚御門古墳の保存・活用に向け、歴史的風土にふさわしく飛鳥を体感できる施設とするための復元整備を実施。史跡地整備（牽牛子塚古墳復元）【H29～R3】

明日香法40周年記念事業

363万円 明日香法制定から40年を経過し、改めて法制定当時のあゆみを振り返るとともに、未来へと繋げることを目的とし、資料の収集・整理、関係者への取材等を行い、記念誌と資料集を編集。



新型コロナウイルス感染症対策事業

交通対策事業

715万円 村内運行路線バス及び村内運行タクシーの感染予防対策の実施。コロナ禍で利用収入が減少する中、路線バスの確保と観光シーズンの増便による密を避け感染防止対策を行った運行を実施。観光業・飲食業などの需要喚起、地域活性化に向け、滞在観光を促進するための2日フリー乗車券の作成やフリー乗車券の割引販売の実施。

感染症拡大予防物品供給事業

750万円 福祉施設・学校等・医療機関・公共施設等への供給、整備及び備蓄用物品を購入。また、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所設営備蓄品等を整備。



デジタル化推進事業

235万円 新型コロナウイルス感染症に対応した職場環境の整備のため、TV会議・中継に対応する機器の整備。



防災情報発信事業

44万円 外出時においても地域内防災情報を受信可能な防災情報メールとLINEのサービスを導入。

特別定額給付金給付事業

5億5,256万円 新型コロナウイルス感染症による経済的な影響による経済対策として、全住民に対して一人10万円を給付。

子育て支援金給付事業

1,435万円 子育て世帯に対し、長期化する新型コロナの影響による子育て負担の軽減を支援するため、児童一人2万円を給付。

子育て世帯臨時特別給付金給付事業

698万円 児童手当の受給世帯に対し、長期化する新型コロナの影響による子育て負担の軽減を支援するため、児童一人1万円を給付。

住民票等コンビニ交付サービス導入事業

1,155万円 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と住民の利便性の向上のため、総務省の実証実験に参加し、マイナンバーカードを活用した住民票等のコンビニ交付を実施。

新型コロナウイルスワクチン接種会場環境整備事業

504万円 非接触型トイレ・洗面・照明非接触改修工事設計費用や空気循環の強化を図るための換気設備改修工事、除菌機購入など感染予防対策の備品を購入し接種会場の環境整備を実施。

新型コロナウイルス予防接種事業

215万円 新型コロナウイルス予防接種システムのシステム改修や優先接種者の接種券印刷発送業務およびコールセンターの設置。

診療施設運営事業

284万円 臨時外来の整備、電子カルテ、サーモグラフィー等を購入しPCR検査を実施できる発熱外来認定医療機関の設置。

観光戦略策定事業

297万円 観光産業による地域活性化に向けて、効果的・効率的に潜在型観光を推進するため、村の目指すべき将来像や取り組みの方針などを示す（仮）明日香村観光戦略の策定を推進。

農業戦略策定事業

396万円 過少子高齢化や人口減少により懸念される農業課題に対応するため、新たな農地利用や担い手の確保、販路拡大など、課題解消に向けた方針等を占める（仮）明日香村農業戦略の策定を推進。

地域内経済循環事業

1,659万円 住民生活の支援並びに村内経済循環創出を目指し、村内事業所等で利用できるクーポン券を全世帯に配布。【第1弾】6月～8月 配付金額：2,000円/1世帯【第2弾】12月～2月 配付金額：5,000円/1世帯

事業持続支援事業

3,455万円 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた緊急事態宣言により、売上げ等に大きく影響を受けている村内事業者（個人事業主を含む）に向けた支援を実施。支援件数157事業者

新商品開発事業

360万円 コロナ後の観光入込客数の回復、地域内消費の増強を図るため、新たな土産品開発を実施。

宿泊施設を軸としたニューツーリズム創出事業

1,096万円 宿泊事業者において、既存のサービス拡充に加え、新たなターゲットに対する宿泊プログラムの造成や施設機能向上の取り組みへの支援を実施。・宿泊施設におけるコロナ対策改修等への支援 12施設

水道基本料金減免事業

1,053万円（水道事業） 19万円（飲料水供給施設事業）

令和2年6月7月分の基本料金の減免措置を実施。20mm以下は全額、25mm以上については5,440円（税抜）を減免。

学校感染予防対策事業

741万円 学校感染予防対策として、消毒液の購入や空気清浄機・サーモグラフィー等の機器を購入。